

令和４年第１回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
1	令和新政 代表 19番 小 倉 靖 幸 予定日時 3月7日(月) 10:00～11:00	1 施政方針について	1 市政運営について	新型コロナウイルスの感染拡大が終息の兆しを見せていたものの、令和４年、年明けより市内でも新規感染者が急増し、市民生活に甚大な被害を受けている状況であります。こうした先の見えない不確実な時代を迎える今、市長の施政方針では５つの柱と４つの戦略的プロジェクトが示されました。この戦略を掲げた石井市長の思いを伺います。	
			2 予算編成について	令和４年度予算は、新たな総合計画の初年度として未来につながる重要な予算と考えます。厳しい財政状況にあってもあらゆる方策を講じるとともに必要な事業を見極め、必要な事業には確実に予算をつけるという市長の強い思いを反映した予算案であると思います。そこでどのような考えをもって予算編成を行ったのか伺います。	
			3 徹底した経営改革について	本市の未来あるべき姿をしっかりと捉え、行政組織の進むべき道を明確にし、効率的に事業を執行することは、大変重要であると考えます。施政方針では、徹底した経営改革を実施し、積極的な経営改革に取り組むとしています。改革に向けた基本的な考え方と重点的に取り組む改革の内容について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
		2 土地活用の具 現化について	1 君津インターチェンジ周辺の効果的な活用 について	本市の長年の懸案事項である君津インターチェンジ周辺の土地活用について、様々な規制があることは承知しています。新たな総合計画の中で市としての方向性を定め、それを具現化していかなければなりません。令和3年第2回定例会の一般質問でも提案しましたが、部の枠を超えたプロジェクトチームを組織し、早急に着手すべきと考えますが、見解を伺います。	
		3 緊急時における 対応について	1 非常時における職員対応について	近年では災害が少ないとされていた千葉県においても、台風、津波などの自然災害が激甚化しており大きな傷跡を残しました。さらに新型コロナウイルスへの対応など、それぞれの担当部署だけでは対応が困難となることが今後ますます懸念されます。こうした緊急時における職員の対応について伺います。	
			2 情報発信の充実強化について	新型コロナウイルスの関連情報や災害時の支援情報など、緊急時において最新情報を速やかに市民に伝えることは、大変重要なこととあります。必要な時に知りたい情報がすぐに得られない状況は避けなければなりません。個々の職員が広報するという意識をもって市民に伝わる情報発信をすべきと考えますが、見解を伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
		4 2050年 カーボンニュー トラルの実現に 向けて	1 脱炭素への取組について	本市は脱炭素を未来のまちづくりに積極的に活かすため、市民、事業者、市が「オール君津」で2050年までにカーボンニュートラルを達成しつつ、環境と経済が調和した「環境グリーン都市」を目指すことを宣言しました。今後、オール君津で脱炭素を進めていくために市はどのような体制で取り組んでいくのか、市長の決意について伺います。また、市民と事業者に対して、どのように周知、啓発を行っていくのか、併せて伺います。	
		5 学校再編について	1 第3次実施プログラムについて	第3次実施プログラムの対象である地区の再編については、単なる統合だけではなく学区の見直しを基本に検討を進めていることは承知しています。新たな総合計画における将来人口の維持・定着を見据えた本市のまちづくりの方向と学校再編との整合性について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
2	創政会 代表 15番 高 橋 明 予定日時 3月7日(月) 11:15～12:15	1 市民の命と暮らしを守るコロナ対策について	1 本市独自の取組と補助金の活用について	本市は国や県の補助金も活用しながら、積極的にコロナ対策に取り組んでいます。これまでの取組と成果について伺います。また、今後の取組について伺います。	
			2 市民の役に立つ国の支援策について	国は生活や事業の支援を大幅に拡充したり、条件を緩和して取り組んでいます。その多くが知られておらず、利用が低いものもあり、市民の利用も進んでいないと感じます。市民の役に立つ支援制度について伺います。	
		2 新総合計画をさらに進める創政会の提案について	1 君津インターチェンジ周辺土地利用の新コンセプト「アグリ（農業）・脱炭素バレー構想」について	新しい総合計画と新年度予算案に、農業に関わる土地利用の規制で開発が進められない君津インターチェンジ周辺の土地利用を前に進めたいという文言が盛り込まれています。しかしながら、どのような考え方で、どの法規制を、どの順番でクリアしていくか、明確な戦略がなければ、これまで20年以上動かなかった開発を実現することは難しいと考えます。そこで私たちは会派としての政策調査の結果、「アグリ（農業）・脱炭素バレー構想」を提案します。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
				インターチェンジ周辺の優良農地に関わる土地利用の規制について、本市と同じように悩んでいた茨城県常総市は、開発にあたり、農業の活性化を目的にアグリサイエンスバレー構想を定めました。農業の可能性を最大限に高めるという目的の下、農業や食品に関わる企業などの誘致を図り、結果的に規制を突破し、45ヘクタールの大規模施設園芸や観光農園、物流倉庫、道の駅、民間商業施設を作るプロジェクトを始動させています。私たち創政会は、総合計画で定める農業も重要な要素である脱炭素のコンセプトも加えた「君津市版アグリ・脱炭素バレー構想」が君津インターチェンジ周辺開発にふさわしい骨太の方針となると考えますが、見解を伺います。あわせて、常総市は事業のスピードアップのため、大規模な土地区画整理については民間大手ゼネコンである戸田建設が担う「一括業務代行方式」を活用しています。この方式も検討すべきと考えますが、見解を伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			2 新しい文化である郡ダムの水上スキーのさらなる推進について	今年度開催された東京オリンピック・パラリンピックやラグビーのワールドカップなど世界的なスポーツイベントの開催を契機として、改めてスポーツを核とした地域活性化が注目され、スポーツの持つ「人を惹きつける力」による交流人口の増加や産業の活性化が期待されています。県内では、今年4月に千葉市において、エクストリームスポーツの世界的競技大会「Xゲームズ」の国内初の開催が決まるなど、各地で活発な取組が行われています。本市においても、パラリンピックのボッチャ競技における廣瀬選手の活躍、昨年11月の郡ダムにおける学生の水上市スキー大会の開催、そして新スポーツ「モルック」の君津大会の開催、今後アジア大会が内みの運動公園で予定されるなど、スポーツを契機とした地域の活性化の取組が着実に進んでいます。特に、郡ダムを活用した水上スキー競技による地域の活性化については、既にある地域資源を有効活用するという点でも大変意義のあるものと考えますが、これまでの取組内容と見えてきた課題、また、今後の見通し、将来のビジョンについて市の見解を伺います。	

令和４年第１回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			3 若者・子育て支援について	鈴木前市長が実現した中学生までの医療費無償化を、高校生まで拡大することが、石井市長らしい子育て支援、若い世代に対する応援の大きなメッセージになるのではないかと考えますが、見解を伺います。	
			4 公共施設の耐震化について	創政会も提案し、保育園や公民館、消防団機庫等の市有建築物の緊急安全対策や建て替えに取り組んできたことを評価します。これまでの成果と課題について伺います。	
			5 高齢者のごみ出し支援について	代表質問で提案した高齢者のごみ出し支援の実施が急ぎ必要だと考えますが、見解を伺います。	
		3 市長公約実現の状況について	1 任期中の公約の達成率について	令和２年３月定例会で石井市長は選挙公約の達成率について、「就任時点で既にあり、引き続き推進しているものが４９％、新たに予算化等により着手したものが２６％、既に実現したものが１２％、未着手のものが１３％」と答弁しました。最終年度を前に、現在の公約の達成率を伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
3	かがやき君津 代表 12番 橋 本 礼 子 予定日時 3月7日(月) 13:15～14:15	1 新たな総合計画の前期基本計画における財政見通しについて	1 歳入・歳出の見通しについて	2月10日に開催した全員協議会の中で、前期基本計画期間中5年間の財政見通しが示されました。令和4年度を初年度とする前期基本計画の財政見通しについて、その推計をどのように行ったのか伺います。また、財政見通しの中でも、現在予定される大規模投資事業が計画全体に与える影響は決して小さくないものと考えますが、前期基本計画における大規模投資事業に対する考え方を伺います。	
			2 新たな総合計画を推進するための事業費確保について	総合計画を進める上で、新たな事業を展開するためには、効果的な財源確保が必要と考えますが、見解を伺います。	
		2 「経済と環境が調和したまち」について	1 脱炭素を通じた地方創生の推進について	本市は2050年までにカーボンニュートラルを実現し、環境と経済が調和した持続可能な「環境グリーン都市」を目指すことを宣言しました。本市の未来を見据えた大変重要なまちづくり宣言であると認識していますが、本宣言を行うに至った経緯について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
		3 「誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち」について	1 身近な相談窓口の整備拡充や訪問等による相談体制の強化について	相談体制を強化して、全ての人が孤立することなく安心して生活できる環境づくりは、地域共生のまちづくりには欠かせないものと考えます。これから、どのように強化していこうとしているのか伺います。特に障害者の地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターの取組について伺います。	
			2 地域ケア会議を通じた地域の課題把握の取組について	高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりには、地域包括ケアシステムの充実が必要とされており、そのためには、地域ケア会議を通じての地域課題を把握する取組が重要ですが、どのように地域の方々と共に取り組んでいくのか伺います。	
			3 市民後見人の養成について	高齢者や障害のある方が増えている現状において、今後の取組としては、成年後見制度の利用支援が課題となるので、市民後見人の養成が必要と考えますが、本市の今後の対応について伺います。	
		4 「安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち」について	1 専門相談員による相談の場の拡充について	近年増加している乳幼児の発達に関する不安に対して、どのように適切な支援につなげていくのか伺います。	
			2 介護及び教育支援を必要とする児童生徒への取組について	少子化で児童生徒数は年々減少していますが、障害等により何らかの支援を必要とする児童生徒は増加しています。市としては、支援を必要とする児童生徒に対してどのような取組を考えているのか伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
		5 「快適で安心して暮らせるまち」について	1 君津市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について	新たな総合計画の策定にあわせて、君津市都市計画マスタープランの改定や立地適正化計画の策定に取り組んでいるとのことですが、現在の策定状況と本市のまちづくりの方向性について伺います。	
			2 防災・減災の取組について	現在想定されている大地震のような大規模災害が発生した場合には、公助の対応には限界があり、東日本大震災などの過去に発生した災害からもわかるように、自助・共助を活性化する取組が必要不可欠と考えます。そこで、地域防災の要となる地区防災計画や災害対策コーディネーターの活性化について、今後の具体的な取組を伺います。	
		6 「ともに創る次世代につながるまち」について	1 本市への人の流れを加速させていく施策について	君津版地域おこし協力隊と連携した本市への移住定住の推進について、具体策を伺います。	
			2 職員の人材育成について	職員が熱意をもって業務に取り組めるような意識改革を進めるための取組について伺います。コンプライアンス研修及びメンタルヘルス研修を強化し、働きやすい職場の整備をどのようにするのか。また、安心して働ける環境整備も重要だと考えますが、取組について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
4	公明党 代表 9 番 野 上 慎 治 予定日時 3 月 7 日 (月) 14:30～15:30	1 「ひとが輝き 幸せつなぐきみ つ」の推進につ いて	1 君津を支える職員及び地域人材の育成につ いて	「ひとが輝き幸せつなぐきみつ」を実現するた めには、「人への投資」を増やし、まちづくりに 意欲を持って取り組む職員や地域人材の育成が必 要不可欠です。伊賀市や長崎市、燕市など全国各 地で「若者会議」が発足し、若者の力をまちづく りに生かそうという取組がなされていますが、そ れをもう一步進めて、職員及び地域人材を育成す る場として「きみつ若者会議」を設置し、君津の 課題について話し合い、提案する活動を通じて、 職員及び地域人材を継続的に育成することが重要 と考えますが、見解を伺います。	
			2 誰一人孤立させない取組の推進について	孤独、孤立の問題が、コロナ禍で顕在化、深刻 化しています。2020年度の児童生徒の自殺者 数は過去最多となってしまいました。住民に最も 身近な地方自治体こそが、当事者の目線や立場に 立って、切れ目がなく息の長い、きめ細かな支援 を推進する必要があります。また、実際に支援に 取り組んでいるNPO等との連携が不可欠です。 部署を超えた断らない相談体制の確立や孤立対策 に取り組むNPO等への支援・連携について伺い ます。また、コロナ禍は、貧困や暴力などさまざ まな問題を抱えた女性を直撃しているといわれま すが、そのような方々に対する市の相談・支援状 況について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			3 環境グリーン都市推進について	昨年10月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」によると2030年度までに家庭部門の温室効果ガス排出量を2013年度に比べて66%削減するとなっています。その対策の筆頭に挙げられているのが住宅の省エネルギー化です。太陽光パネルの設置や窓の断熱性の向上、家庭用燃料電池の普及などが求められています。本市においても、住宅の省エネルギー化に対する補助や啓発を積極的に行うべきと考えますが、見解を伺います。	
		2 女性活躍社会の推進について	1 女性が活躍できる環境整備について	1 コロナ禍でステイホームが続く中、家事や育児の負担が女性に偏っている現状が改めて明らかになりました。誰もが活躍できる持続可能な社会にしていくためには、女性をはじめ多様な人材が能力と意欲に応じて活躍できるよう、家庭や地域、職場における男女の無意識の偏見を改善し、男性中心社会を改革する必要があります。少子化と生産年齢人口の減少が進む中においても、女性の活躍推進は喫緊の課題です。政府が女性のデジタル人材育成の方針を決定するなど女性の活躍の場は、さらに広がります。資格取得支援や就職相談会の実施など、国の地域女性活躍推進交付金を活用して取り組むべきと考えます。加えて保育園・学童保育の整備等、働きやすい環境整備が急務ですが、本市の女性活躍推進の現状と取組について伺います。	

令和４年第１回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
				２ 育児・介護休業法改正により令和４年４月から対象者に個別の周知・意向確認が義務付けられます。育児休業の取得は、男性が出産後の妻を支えるというだけでなく、男性が家事や育児に参画することは、女性の就業継続やキャリアアップの促進、出生率にも影響すると言われるほど、社会に大きな効果をもたらす意義深いものです。まずは、市が範を示すべく「イクボス宣言」をして、育児に理解ある管理職を育て、男女問わず職員が仕事と家庭の両立しやすい風土を作るべきと考えますが、見解を伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			(関連質問) 1 女性の健康支援について	3月1日から8日は女性の健康週間です。これまでも女性特有のがん対策や産後うつ対策などが推進されていますが、昨今、進学・就職・結婚・出産・子育てなど人生の多くの変化を体験するAYA世代（15歳から39歳）のがんは女性が8割を占めるという実態が明らかになりました。特に女性特有の乳がんや子宮頸がんの割合が高く、若い世代に対しても予防や早期発見に対する啓発や対策が必要です。子宮頸がん予防となるHPVワクチン接種は、対象者への積極的勧奨が令和4年4月から再開されます。これまで個別通知をしていた世代も含めた全対象者に対し勧奨すべきと考えますが、周知対象、周知方法について伺います。また、定期接種の対象年齢を過ぎてしまった高校2年生以上に対するキャッチアップ接種の必要性を感じますが、どのような周知を予定しているか伺います。	8番 佐 藤 葉 子

令和４年第１回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			(関連質問) ２ 学童保育の改革について	共働きやひとり親世帯の増加等の社会情勢の変化に伴い、放課後児童クラブいわゆる学童保育の重要性が高まっており、国は質の向上と機能の充実に努めなければならないと示しています。本市の保育園申請数が増加傾向にある現状をみても、学童保育の整備は必須です。「君津市子ども子育て支援計画」では令和４年度まで７００人、令和６年度まで７４０人の受入れ確保を目標としていますが、現在の定員数は５５４人です。受入れ枠不足に対する認識とその対応策について伺います。本市は会計検査院の指摘により、学童補助金要綱の認識相違に伴う補助金の過大交付が明らかとなりました。速やかに是正しなければ、今後の学童運営や経営に影響します。これを機に各学童の実態調査をすべきと考えますが、対応状況を伺います。	８番 佐 藤 葉 子

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
		3 安全安心のまちづくり推進について	1 市民の生命を守る災害対策について	大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力では食い止めることはできませんが、災害による被害は、私たちの日頃の備えによって減らすことが可能です。そのためには、自助・共助の力を高める行政の関わりが重要であり、自主防災組織が、災害時に実効性を持って活動できることが大切です。またコロナ禍の中、避難活動などをどのようにすればよいかなど、新たな課題も生まれています。そこで自主防災組織の交流の場を設け、それぞれの活動状況や困りごとなどを情報交換することにより、活動の推進や改善が図れると考えますが、見解を伺います。	
			(関連質問) 防災力の強化について	1 クリーン作戦のように「防災DAY」を設定し、市内全域で各地域の特性に配慮した防災訓練・防災学習などを行い、地域全体としての防災意識の向上を図ることが非常に重要であると考えますが、見解を伺います。 2 高度な知識を持った気象アドバイザーの活用は地域の防災力を高める上で非常に重要であると考えますが、見解を伺います。	5 番 高 橋 健 治

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			2 新型コロナウイルス感染症対策について	オミクロン株による子どもたちへの感染が急増しています。本市では3月中の接種開始を目指していますが、接種に当たっては保護者の同伴が必要なことから、土曜日の接種希望者が多いことが予想されます。土曜日の接種枠を増やしておくなどの対応が必要と考えますが、見解を伺います。また、都市部においては病床が逼迫し、緊急搬送に対応できない病院が増えているとの報道がなされています。君津地域の現状について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
		4 他市に先駆け た子育て支援の 推進について	1 高校での昼食提供について	子育て支援において、非常に手薄なのが高校生に対する支援です。昼食においても私立高校には学食がありますが、公立高校はパンと飲み物の販売程度です。また、全員が弁当を持って来られるわけでもありません。昼食を食べられない生徒もいるのではないのでしょうか。高校生の実態を把握し、希望者には、給食や栄養バランスの良い弁当を安価に提供できる体制を整えるべきと考えますが、見解を伺います。	
			2 高校生の医療費無償化について	本市は2012年12月に、中学生までの医療費の助成を始めましたが、2020年厚生労働省の調査によると、全国1741の市区町村全てで医療費助成は実施され、約5割が中学生まで、約4割が高校生まで実施されています。東京都では23区と一部市町村で2023年4月より実施される予定です。子育て世代の負担軽減のため、近隣市に先駆けて助成の対象を高校生までに拡大することが大切であると考えますが、見解を伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
5	きみつ未来 代表 20番 磯 貝 清 予定日時 3月8日(火) 10:00～11:00	1 石井市政の主要実績について	1 選挙時における公約とその進捗について	市長選挙公約で掲げられた「きみつ元気プラン」の事業化と着手率について伺います。あわせて、残された課題と君津市長選挙を含めた今後の展開について伺います。	
		2 令和4年度施政方針について	1 組織改正について	市長をヘッドとした組織運営の基本的な考え方について、特徴や変更点、工夫改善したい点があれば伺います。	
			2 「経済と環境が調和したまち」について	「君津市商工・観光アクションプラン」については、情報発信力の強化と的を絞った施策に重点化すべきと考えますが、見解を伺います。また、きみつ応援団の活用について、マスメディア戦略も含めた考え方とコロナ禍でも利用が増えているゴルフ場の利活用戦略について見解を伺います。さらに、メイドイン君津の今後の展開について、市内事業者間の連携強化や展開等についての具体的な考え方を伺います。次に、「環境グリーン都市宣言」を踏まえ、グリーン専門人材の登用、地球温暖化対策実行計画の策定等を行い、国の脱炭素先行地域の選定を目指し取り組んでいくとしていますが、組織体制をはじめ、どのような形で進めていくのか、考え方について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			3 「誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち」について	「君津市フレイル予防出前講座」の実施にあたり、実態をどのように把握し、対応を図ろうとしているのか伺います。あわせて、地域間格差は生じていないのか伺います。また、スポーツ推進計画の策定に関して、地域型スポーツクラブ設立との整合性について伺います。	
			4 「安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち」について	子だから祝金の支給を見直し、来年度、新たな取組として、「きみつ赤ちゃん応援パック」事業を展開しますが、具体的な内容と推進体制、必要な人材育成等について見解を伺います。また、補助金・交付金等について検討状況を伺います。	
			(関連質問) 待機児童の解消について	本市の待機児童に関し、喫緊の課題と捉えられていますが、解消の見込みが見えていない状況で慢性的な保育士不足を解消するため、これまでの取組に加え、新たに近隣保育士養成校との連携や、人材派遣会社の活用など進めていくとしていますが、今後の進め方について伺います。	7 番 松本 裕次郎

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
			5 「快適で安心して暮らせるまち」について	「君津市都市計画マスタープラン」を改訂し、「立地適正化計画」を策定していくとありますが、今日までの取組の成果と課題解決の目途について見解を伺います。また、交通政策室を設置するにあたり、具体的な計画の策定イメージを伺います。	
			6 「ともに創る次世代につながるまち」について	公共施設個別施設計画のローリングについて、廃止・複合化・受益者負担の適正化について明示すべきと考えますが、見解を伺います。あわせて、今年度より新たに庁舎整備基金を設置しますが、再整備の方向性について伺います。次に、新たに設置する「君津版地域おこし協力隊」との連携を図るとしていますが、具体的な取組について見解を伺います。また、人材育成について、昨年の代表質問における見解でeラーニングの導入について速やかに実施するとの回答でしたが、研修の強化で働きやすい職場を整備することは取り組むべき重要な事項であると考えますが、具体的な取組について見解を伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨	関連質問議員
		3 令和4年度君津市総合計画について	1 実施計画（案）の概要について	財政規模の適正化や国・県の補助、交付に基づいた裏付により実現が可能であると受け止めていますが、今日までの取組経過や成果を踏まえた今後の具体的な対応、さらには具体的な推進体制と役割分担、目的の実効を明確にするための進捗管理等について、前期計画期間である令和8年度までの費用概算見積りも含めて見解を伺います。	
		4 令和4年度予算編成方針について	1 当初予算案の概要について	具体的な財源確保について、「選択と集中」で戦略的プロジェクト、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済活動の両立、脱炭素社会実現に向けた取組推進、防災・減災、国土強靱化の推進に対する予算配分について伺います。	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
1	14番 保坂好一 予定日時 3月8日(火) 11:15~12:00	1 森林環境問題 について	1 ナラ枯れの対策について	カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によって、ナラ類、シイ・カシ類等のブナ科に起こる樹木の伝染病にナラ枯れがあります。平成29年9月に鴨川市のマテバシイ林内で観測され、被害報告がされていますが、本市での被害状況や駆除などはいかなるように行われているか伺います。また、ナラ類が枯れた後、根際に発生することがある毒キノコ「カエンタケ」は、触っただけでも炎症を起こすことがあると言われていますが、本市で発生しているのか、そして被害に遭われた方が今までにいるのかを併せて伺います。
		2 エネルギー開 発事業について	1 小水力発電、風力発電事業化の可能性について	古来、上総地区では小水力発電を利用した集落があり、現在でもその名残があるところが存在しています。再生可能エネルギーの一つでもある小水力発電ですが、総合計画には具体的に記載されていないものの、その必要性はあるものと考えます。音事協で交流もある、山梨県北杜市では市が運営者となり、農業用水路を活用して単独で320キロワットを発電しています。また、農林水産省・農林振興局では、小水力等の利活用を推進するための各種施策が講じられ、事業化が進んでいます。さらに、風力発電においては、台風時でも発電可能な「垂直軸型風力発電」が開発され、実証実験が始められています。太陽光だけではなく、持続可能エネルギーの事業に向けての展望を伺います。

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨
		3 福祉サービスの充実について	1 高齢者・障がい者の権利擁護について	成年後見制度は認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な成年者を保護するための制度ですが、制度を十分に機能させるには知識と人材が必要と考えます。成年後見事業の現状と今後の体制について伺います。
		4 公共施設の耐震について	1 公民館の応急対策補強について	周南公民館が応急対策補強を行いました、どのような工法で行ったのか、また、構造耐震指標（I S 値）の数値はどれくらい向上したのか伺います。そして、これから実施が予定されている小糸・小櫃公民館の応急耐震対策の工法はどういったもので、構造耐震指標（I S 値）はどれくらい向上するのか伺います。

令和４年第１回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
2	4 番 村 上 幸 人 予定日時 3 月 8 日 (火) 13:00～13:45	1 今後の財政運営について	1 令和３年度の普通交付税の算定結果について	今年度の普通交付税の算定結果については、平成２７年度以来の交付団体となりましたが、その要因について伺います。また、交付団体となったことで本市が受けるメリット・デメリットがあれば併せて伺います。
			2 普通交付税の今後の見込みについて	迎える令和４年度は、新たな総合計画スタートの年です。令和４年度以降の普通交付税の交付見通し及びそれを踏まえた財政運営の考え方について伺います。
		2 民法の改正について	1 民法改正に伴う成年年齢の引下げについて	成年年齢が２０２２年４月から、現行の２０歳から１８歳に引き下げられます。約１４０年ぶりに成年の定義が見直されることで、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼすことが想定されます。成人に達すると、親の同意がなくても自分の意思で様々な契約が可能となり、そのため、社会的経験の乏しい新成人が詐欺等の被害者にもなり得ます。本市ではこうした状況に備え、啓発活動等を行っているのか伺います。
				新型コロナウイルスの感染は拡大傾向にあり、予断を許さない状況にあります。特に介護保険サービスを活用されているご高齢の方々の間では、感染症を避けるため介護保険サービスの利用控えをしているケースが少なくないものと推察します。このため、運動量の減少や外出できないストレスにより、要介護度が上昇する等、家庭内での介護負担の増加がみられるようですが、本市ではどのような対策をしているのか伺います。
		3 高齢者福祉等について	1 コロナ禍における介護について	高齢化や核家族化の進展により、介護が社会問題化しています。同時に、平均寿命が延びるにつれて、高齢者同士による老老介護がクローズアップされています。本市ではどのような対策をしているのか伺います。
			2 老老介護について	

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
3	18番 三浦道雄 予定日時 3月8日(火) 14:00～14:45	1 施政方針について	1 市長の政治姿勢について	1 市政運営での基本的な考え方について「5つの柱を立て、これらに基づく施策を着実に推進してまいります。」と述べられ、新型コロナウイルス感染症の対応等について言及されていますが、オミクロン株の感染力で第6波が襲来し、2年にも及ぶコロナ禍が続く中でさらに感染が拡大している状況です。このことへの認識と収束に向けての施策について伺います。 2 コロナ禍の影響で仕事を失う、収入が激減、そして感染症となり命が奪われるなど、悪循環が繰り返されています。施政方針の冒頭で市長は「昨年を振り返りましても、市民の命と暮らしを守ることを最優先に考え、新型コロナウイルス感染症対応に奔走した1年」と振り返っています。しかし、今年の1月からの感染症の拡大はこれまでの比ではないと思います。1月、2月の感染拡大の推移を踏まえての認識を伺います。 3 市民の命や暮らしを守る喫緊の課題は、新型コロナウイルス感染症対応による1日も早い収束にあります。一方で、危険なオスプレイの配備と飛行訓練等については一言も触れられていません。昨年も指摘しましたが、なぜ5つの柱のどこにも入っていないのか伺います。

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		2 福祉・医療行政について	1 高い国民健康保険税の大幅引下げについて	1 前議会では国民皆保険制度の成り立ち（社会情勢）について伺い、丁寧な回答を頂きました。全国知事会が高い国保税の引下げのために国に1兆円の公費負担増を求めています。その理由については、この間の議論で、ある程度の認識になったものと思いますが、施政方針では触れられていません。その理由と1兆円の公費負担増への認識を再度伺います。 2 木更津市、袖ヶ浦市、富津市の1兆円の公費負担増が仮に実現した場合の協会けんぽとの対比、試算について伺います。
		3 環境行政について	1 新井総合施設株式会社の動向について	「まん延防止等重点措置」の下でも何ら関係なく、これまでと同様の営業が続けられています。日々のダンプカーの搬入は30台前後と思われますが、第3期処分場建設の推移等、動向について伺います。

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
4	13番 下田 剣 吾 予定日時 3月9日(水) 10:00～10:45	1 市長公約「乗り合い交通網の整備」について	1 新年度実現するスクールバス等を活用した実証実験について	石井市長は当選直後の議会で「公約は任期内(4年)に実現したい」と答弁され、新年度予算に初めてスクールバス等を利用した実証実験が盛り込まれました。市長の公約実現への強い意志を感じ、素晴らしい姿勢だと考えます。平成30年9月議会において、市はコミュニティバスの通っていない周南地区山間部について、「小糸・清和地区の日本大学との研究を踏まえ、交通弱者、交通空白域に対応する」と答弁しています。例えば小糸・泉地区と周南・尾車地区はすぐ隣です。買物や通院に困る交通弱者への支援としても、地区を越えた利用を検証する観点からも、可能性を検討すべきと考えますが、見解を伺います。
		2 子ども、若者のための政策を充実させるために	1 コロナによる保育所、学校、放課後児童クラブの休校休園に対する支援について	オミクロン株の拡大によって市内でも学級閉鎖や保育園の一部休止が相次いでいます。保護者は仕事に行くことができなくなり、非常に困っています。市の責任で、学校や保育園、放課後児童クラブが休止になっても代替保育や、代替預かりなどを実施して、子育て世代を支援する必要があると思いますが、見解を伺います。
			2 中学卒業後の特別支援と進路について	義務教育の中学校を卒業した途端に、突然、市からの丁寧な支援や配慮がなくなるのは課題だと考えます。特別支援において、高校受験、あるいはその後の進路について、情報の不足や支援の不安を感じている市民の方が多いです。現在の特別支援学級の現状と、中学卒業後の進路、進学後の状況、また支援の現状について伺います。

令和４年第１回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			3 完成した５０周年記念かるたについて	本市の子どもたちと青少年相談員の皆様が協力して作り上げた「令和版君津ふるさとかるた」について、私立の保育園や幼稚園、学童、放課後等デイサービスなど、広く市民や子どもたちに使ってもらうために工夫が必要だと思いますが、見解を伺います。
			4 ２０１５年文部科学省通達への対応について	多様性が求められるＳＤＧｓの時代にあつて、本市教育委員会の制服等の対応が遅れていると考えますが、見解を伺います。
			5 中止した成人式の代替行事について	新型コロナウイルス感染症により成人式が中止となった若者のために、代替行事を検討すべきだと思いますが、見解を伺います。
			6 消防団員と家族を支援するために	消防団の主要な日常活動である水利点検や、畦畔焼きやどんど焼等の警戒が報酬の支給対象外とされていることの改善を求めてきましたが、見解を伺います。
		3 道路の破損について	1 局所的な市道の不具合について	市道大山野奥谷線は入り口から約５０メートルだけ、ひび割れが発生しています。同じく完成したばかりの小山野山高原線も国道から１５０メートルだけがひび割れ、砂や石で覆われ、まるで事業所内道路の様相です。また、国道１２７号小山野交差点から大山野に向けての市道が５０メートルほどひび割れ、側溝のふたは割れています。いずれの場所もその範囲を超えると汚れや損傷はほとんどありません。税金で作られた市道でなぜこのようなことが起きているのか、対応は十分なのか伺います。

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨
		4 公平でハラスメントのない市役所の実現について	1 生きがい支援センターにおける苦情について	小糸地区の生きがい支援センターの利用者から、職員による3件のハラスメント的な行為について苦情を受けました。私は許されることでないと考えますが、見解を伺います。
			2 3回目ワクチン接種について	広報きみつ2月号の発行日である2月1日から、教育福祉常任委員会があった2月18日までの間に、一部の市民だけ3回目のワクチン接種を早めた事案が何件あったか伺います。
			3 市役所の電話録音について	2月から始まった市役所の電話録音について、録音後に聞き直した事例が何件あったか伺います。

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
5	16番 須永 和 良 予定日時 3月9日(水) 11:00～11:45	1 君津市本庁舎 の再整備につ いて	1 庁舎再整備の財源について	庁舎を再整備するための財源として、基金や国・県補助金、民間資金が考えられます。そこで3点伺います。 1 まず基金に関して、市有地等を売却して得る収入は臨時収入であり、その額がなくても市は例年通りの運営ができるはずです。このたび南子安共同調理場の売却等が決まりましたが、公有財産の売却等による収入は基金に積み立てるべきだと考えますが、見解を伺います。 2 次に国・県補助金に関して、庁舎の再整備に活用できる補助金にはどのようなものがあるのか、また社会資本総合整備交付金の暮らし・にぎわい再生事業の枠を活用するには、中心市街地活性化基本計画の見直しをする必要があると思いますが、見解を伺います。 3 民間資力の活用について、民間企業が参入するためにはそれなりのメリットがなければなりません。民間資力で建設する場合には、建物としての資産価値が下がらないことが重要であり、そのためには君津駅駐輪場などの市有地を活用することが最も適していると考えますが、見解を伺います。あわせて、早い段階から民間企業に提案を求める「庁舎再整備案の公募」を実施したらどうかと考えますが、見解を伺います。

令和4年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 庁舎再整備の時期について	令和3年12月の一般質問では「将来の財政負担等も考慮し、本庁舎の整備時期を見定めていく必要がある」との答弁でした。私は一般官庁施設としての耐震性能を満たしていない本庁舎は可能な限り早期に再整備すべきだと考えます。そこで、GIS値1.0以上とされているところ、0.98で耐震性能を「おおむね満たしている」とする根拠を伺います。また、おおむね満たしていれば急がなくていい理由も伺います。
		2 学校再編第3次実施プログラムについて	1 現在の進ちょく状況と今後について	八重原地区を核とする学校再編第3次実施プログラムは令和2年度中に策定ということでしたが大幅に遅れています。これまで反対意見がありながらも、子どもたちの教育環境の整備が第一という観点から単学級・複式学級の解消を基本に行ってきました。学校再編が大幅に遅れているということは、今までの「適正規模」の考え方は変わってしまったのか、見解を伺います。また、北子安小学校と外箕輪小学校の現在の児童数と今後の予測についても伺います。
		3 市内産業廃棄物最終処分場の増設への対応について	1 令和4年度施政方針について	令和4年度施政方針は石井市長4回目の施政方針です。過去の施政方針を見比べたところ、環境面において令和元年度、令和2年度には「産業廃棄物最終処分場」という言葉が出てきます。令和3年度からその言葉はなくなり、令和4年度施政方針では「本市のかけがえのない財産である豊かな水と緑を守り、後世に引き継いでいくことは、私たちに課せられた重要な責務であります。この貴重な財産を脅かすことに対しましては～」と書かれています。この「脅かすこと」とはどのようなことを指しているのか伺います。また、「しっかりと監視を行い」と書かれていますが、脅かす行為に対する行動が「監視」というのはどういうことなのか、詳細を伺います。